

# ゆうあい

## 第26号

【発行】



社会福祉法人友愛会  
広報委員会

群馬県高崎市寺尾町2120-2

国立のぞみの園内

TEL027-386-6030

FAX027-386-6033

E-mail yuikai@smile.ocn.ne.jp



### 光洋愛成園社会見学旅行

東京スカイツリー 展望回廊451.2m地点で

## 目次

- 2ページ 友愛会のページ
- 3ページ 友愛会のページ
- 4ページ 光洋愛成園のページ
- 5ページ ワークセンターさくらのページ
- 6ページ サポートセンターゆうあいのページ
- 7ページ 平成24年度友愛会業務・財務報告
- 8ページ ご寄附ご協力ありがとうございます



バスの車窓から東京スカイツリーを撮影

## ★友愛会★

## 待ち遠しいふるさとの夜明け



社会福祉法人友愛会

理事長 林 久美子

平成23年3月11日、すごい揺れの地震、生まれて初めて経験した津波、続いての原子力発電所の事故と、次々に発生した現象で、不安いっぱいの中で眺めた阿武隈山脈に沈んで行った太陽は、2年9ヶ月過ぎても私達が求める夜明けは来ず、太陽は昇つて来ません。

避難生活がこんなに長く続くとはいけません。避難生活はあくまでも仮の生活なので、我慢しなければいけないことが多く、日常生活でも不安定になることは否めません。長引けば長引くほど精神的にも経済的にも疲れが出て来ます。そんな中で利用者の皆さんの一日一日の充実した生活を求めて努力する職員の姿に頭が下がる思いです。また、長期間にわたる避難生活の私達に、変わらない物心両面の支援を、惜しみなくして下さい。国立のぞみの園の皆様には心から感謝するのみです。今は群馬県高崎市で生活していることを最大限に利用して、自然環境が美しい、高度な文化都市である、

都心にも近い等、諸条件が揃っているこの地でできることをたくさん経験して欲しいと願っています。保護者の皆様には、毎月お届けしている広報紙の中で、職員の創意工夫を重ねた事業内容をご理解頂ければ有難く幸いです。

帰還に関しては法人役職員が一丸となつて計画を立て、一日も早く帰ることを企画しています。ふるさとに近い、そして放射線の危険のない私達の安心して生活のできる場所に、自分達の施設の建設を求めて日夜努力していたところ、双葉郡広野町に用地を確保することができました。まだ課題が山積している状況ですが、平成27年度の帰還を目標に引き続き努力して参りたいと思います。

友愛会の夜明けが早く見えるように、美しい朝日が輝き渡るように祈るのみです。



## 友愛会保護者懇談会

10月5日、国立のぞみの園文化センターにおいて、友愛会保護者懇談会を開催しました。避難してから毎年この時期に開催しており、今年で3度目となります。当日は、郡山市の富岡町役場郡山事務所までの送迎バスに加えて、各自で高崎まで来られた方々もおり、29家族42名が出席しました。

林理事長からの挨拶で、双葉郡広野町に施設を新設するための用地を確保し、とても厳しいスケジュールではありますが、平成27年度を目標に帰還を果したいということが公表されました。また、寺島事務局長から「福島県帰還のロードマップ」について説明し、各施設長から各事業所の現状等についても説明しました。

保護者の皆様からは、帰還について歓迎する反応がほとんどでしたが、質疑応答の中では津波や放射能に対する安全性についての質問が相次ぎました。法人からは、確保した用地は海の側ですが、高台であり津波の心配はないこと、放射線量については、国の定めた基準値の範囲内であること等説明しました。

懇談会の前後には自由に面会



をして頂きました。避難後は一年に一度だけの面会の機会となっている方もいます。ゲストハウス等に宿泊して二日間面会される方もおり、避難生活も2年半を過ぎましたが、元気に生活する利用者の皆さんの姿に安心して頂けたものと思います。

福島県帰還は利用者はもちろん、保護者、職員にとっても悲願ではありますが、様々な不安も付きまといまいます。利用者支援と並行しながら帰還に向けた作業を行う困難もあります。今後、多くの皆様方のご理解とご協力を得ながら、無事なふるさとに帰還して頂くことが友愛会の責務となります。



# ★友愛会★

## 読売光と愛の事業団様より 福祉車両寄贈

9月26日、社会福祉法人読売光と愛の事業団様より、サポートセンター「ゆうあい」に対し、福祉車両（「トヨタシエンタ」車椅子仕様）が寄贈され、贈呈式が行われました。贈呈式では、読売光と愛の事業団理事、尾上達郎様よりご挨拶を頂き、林久美子理事長に車両キーが手渡されました。

グループホーム・ケアホームを運営するサポートセンターゆうあいでは、利用者の高齢化が進み、通院や外出に車椅子が載せられる車の必要性が高まっていました。これまでは法人内の他事業所から車椅子車両を借りていましたが、これからは自前の車両を使用することができます。小回りのきく車両であり運転もしやすく、利用者からも乗り心地が良いと好評です。

読売光と愛の事業団様のご厚意に心より感謝申し上げますとともに、未永く大切に使用させていただきます。



## 行事あれこれ



### 国立のぞみの園盆踊り

国立のぞみの園盆踊りに参加させて頂くのは今年で3度目となります。櫓、提灯、夜店と祭りのムードに負けないよう、甚平とうちわで参加させて頂きました。祭りの最後には花火も上がります。国立のぞみの園様のご配慮で「相馬盆歌」も毎年流して頂き、皆様と一緒に踊っています。



### 高崎アコーディオンサークル 創立40周年記念定期演奏会

高崎に避難してから何度も訪問演奏をして下さっている「高崎アコーディオンサークル」の創立40周年を記念しての演奏会にご招待を受けました。群馬音楽センターには約2,000人の方々が訪れていました。光洋愛成園工房さんから染めたスカーフを全員が首に巻いて演奏が行われました。ワークセンターさくらの加工味噌販売のご協力や友愛会に対して多額の寄付金も頂きました。



### 第11回のぞみ ふれあいフェスティバル

今年も盛大に開催された「のぞみふれあいフェスティバル」。ステージの催しやたくさんのお店で賑わい、友愛会の利用者さんも楽しい一日を過ごさせて頂きました。ステージでは「ゆうあいかいオールスターズ」のメンバーが、猪苗代湖ズの「I love you & I need you ふくしま」を披露しました。



### 高崎まつり大花火大会

高崎市からの花火大会のご招待も今年で3度目となりましたが、5階建てビルの屋上で花火を観るには最高のポジションです。富岡町の花火大会は大分前になくなってしまったので、高崎大花火大会のご招待は利用者さんとても喜んでます。美しさと迫力は心に焼き付くものがあります。

☆光洋愛成園☆

光洋愛成園の現況について



生活支援員 海鋒 広宣

早いもので高崎に避難して3度目の秋を迎えました。光洋愛成園では、いつまでも「避難」とばかりは言っていられないと、震災前の状況に近付けた支援を行うようにしています。

日中活動は、主に歩行と桜染めの2グループに分かれています。歩行は、長距離グループと短距離グループに分かれて健康の維持増進を図っています。また、桜染め製品の製作・販売を行うグループは、高崎市のスズラン百貨店でも販売の機会を得る等、利用者の皆さんにも大きな励みとなっております。その他、外部の方を招いてのアロマセラピーやラフターヨガにも引き続き取り組んでおり、利用者の好評を得ております。

余暇の面では、利用者の皆さんの希望に基づいた自由外出に積極的に取り組んでいます。温泉に行きたいグループ、美味しい物を食べに行きたいグループ等、グループ別の外出や担当職員と一日外出を行っています。

故郷の福島に戻ることを楽しみにしつつも、群馬だからこそこできることを積極的に利用者の皆さんに提供し、かけがえのない時間を有意義に過ごすことができるよう努力して行きたいと思っております。



1泊2日で山梨方面に自由外出 (9/9、10)

日中活動の様子

お茶会



休日のゆったりしたひと時に、本格的なお茶を楽しんでいます。抹茶に湯を注ぎ茶筌でお茶をたてています。茶道部出身の職員の指導により皆さん上手になったようです。

歩行



健康増進を目的として天候を見て外の歩行を実施しています。敷地内の歩行がメインですが、夏場はバスで移動し、染料植物園での歩行も行いました。マイナスイオンを体で浴び、リフレッシュする事も出来ました。

工房さくら



今年も国立のぞみの園様、富岡製糸場様等多くの皆様方のご協力で桜の葉を採取させて頂きました。

貴重な染液を有効に活用するべく、保護者様のボランティアの手もお借りし、コサージュ等沢山の製品を作成しました。これらの製品の一部は10月9日~14日まで開催された、絹の里群馬絹フェスタ(スズラン百貨店・高崎店)で展示販売され、多くの方に製品を知って頂きました。

社会見学旅行



10月29日、東京方面へ第1班が社会見学旅行に行きました。あいにくの小雨ではありましたが、雨に濡れる事のない移動であり、東京スカイツリーで楽しい時間を過ごしました。第2班は11月21日に同じコースで行く予定となっております。

どんぐりの苗



JR東日本旅客鉄道労働組合・高崎地方本部からの依頼でどんぐりの苗を100鉢お預かりました。これは南相馬市で行われている、「南相馬市防潮堤の森作り」運動の一環として成長した苗木を届けることのお手伝いの為です。また、歩行時にどんぐりを拾い集め、これらは種として植えて頂く事となっています。利用者の皆さんが毎日大切に水やりを行い育てています。今後は様子を見ながら、更に苗の鉢を増やす計画です。また、社会見学旅行では、労組の方にボランティアとして参加して頂きました。これからもご支援を宜しくお願い致します。

# ☆ワークセンターさくら☆

ワークセンターさくらの現況について



生活支援員 菅野 修平

高崎での避難生活も2年と半年が過ぎ、3度目の冬を迎えようとしています。利用者の皆さんも日々の日中活動や外出支援等の行事を楽しみに毎日元気に過ごしています。

ワークセンターさくらの日中活動は、就労グループは味噌作り班・内職班に分かれ、味噌作り班では友愛会のホームページを通してのネット注文も開始し、群馬県内だけでなく全国での販売も行い、多くの好評を頂いています。内職班ではボールペン組み立てやホッチキスの箱詰め作業等を行っており、皆さん生き生きと取り組んでいます。生活介護グループは音楽療法やフットボールなどの活動の他、7月から新たにメモ帳の袋詰め作業の内職を開始し、以前「リジョイスとみおか」にいた方は久しぶりの内職作業に意欲的に取り組んでいます。余暇の外出支援では、高速道路を使つての遠出も増え、利用者の皆さんは1ヶ月以上前から「次の外出どこ行くの？」と毎回楽しみにしています。また、以前グループホームで暮らしていた4名で自由に買物・外食を楽しんだり、オプション外出で同窓会に出掛け、久しぶりに逢つた同級生と楽しい時間を過ごしたりと、皆さんの生活が楽しくなるような活動も行っています。

10月には福島への帰還の具体的なビジョンも示され、利用者のモチベーションも上がったように思います。福島へ帰つた際に、高崎での生活が活かせるよう今後も支援して行きたいと思ひます。

## 日中活動・行事紹介

### “社会見学旅行” 静岡方面



浜松城天守閣



10月3・4日、社会見学旅行で浜松城、うなぎパイファクトリーへ行きました。浜松城では殿様の格好をしたり、うなぎパイファクトリーでは、うなぎパイの製造工程等を見て来ました。翌日は、航空自衛隊、大平ロープウェイ乗車、久能山東照宮参拝、特に清水港の新鮮な盛り合わせ刺身定食は最高でした。

### うなぎパイファクトリー

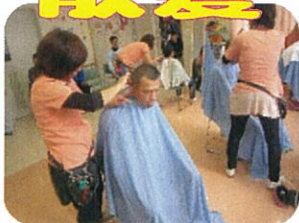


### 夜間防災訓練



8月24日、夜間防災訓練を行いました。初めての夜間訓練でしたが、皆さんスムーズに避難することができました。

### 散髪



2ヶ月に1回、富士会館にて散髪を行っています。散髪後にはヒゲ剃りもしてもらい、皆さんスッキリした様子でした。

### 味噌作り



### ホッチキス内職



日中活動では味噌作り、ホッチキスの内職作業等をしています。普段はおしゃべりな皆さんも仕事中は真剣です。

サポートセンターゆうあい・リジョイスとみおか



生活支援員 叶谷 千早

サポートセンターゆうあいの  
現況について

避難生活をスタートさせた頃の利用者の皆さんは、環境や人間関係の大きな変化に大変戸惑われた様子で、心身共に受けたダメージは計り知れない事だったと思われます。衣食住、他すべてにおいて我慢、不便な状況からのスタートでした。限られたスタッフで支援しておりますが、国立のぞみの園はじめ、多くの皆様方からの温かいご協力を頂き、心豊かに穏やかに生活を送っております。日中活動においても、職住分離が図られ、本来の活動をとり戻しつつあります。「リジョイスとみおか」では、今年度より読み聞かせと園芸教室も加わり、ボランティアの講師の方が来てくれています。また、群馬県肢体不自由児協議会様より内職作業を受け、開始しています。前号までに紹介されていた各課業も皆さんの楽しみとなり、リズムに乗り落ち着いた生活環境を提供できるようにしました。余暇支援では、月に一度の手作りおやつとして、女子ならではの希望メニューを作り、毎回大盛況です。今年度は個別のニーズに沿った外出支援にプラスしてバスツアーも導入され楽しみも増えています。

先日、福島帰還のロードマップ説明があり、先が見えて来た事により、今後の生活に張りが出て来たようです。ここ高崎で経験した事、思い描いた事を十分に活かして福島での生活へ戻れるよう一杯支援して行きたいと思えます。それまでのもう少しの間、大合宿的雰囲気希望你们と共に楽しんで生活したいと思えます。

日中活動・行事

ボーリング大会



プーラー賞

サポートセンターゆうあいではボーリング大会が行われました。慣れてる方や初めて体験の方もいましたが、皆さんとても楽しんでいました。頑張って景品も頂きました★

スイカ割り大会・流しそうめん★



がんばれえ〜



8月スイカ割り大会と流しそうめんが行われました。ダミーのスイカと本物のスイカを使って楽しみました。流しそうめんは昨年同様大好評でした。

園芸教室・読み聞かせボランティア



ボランティアの増田さんが、園芸教室と毎週読み聞かせに来てくださっています。日中活動の楽しみとなり皆さん待ち遠しく楽しみにしています。



リジョイス内職風景

群馬県肢体不自由児協議会様より内職作業を受けて、リジョイスとみおかメンバーが楽しく一生懸命取り組んでいます。



スタートライン★交流会



7月、スタートラインの交流会があり、皆さんでゲームをして楽しみました★

社会見学旅行一泊★リジョイス



9月5日、6日リジョイスとみおか社会見学旅行（一泊コース）で長野方面へ行って来ました。美術館、草津温泉に泊まり、軽井沢のアウトレット

等充実した2日間を過ごして来ました。リジョイスとみおか念願の一泊旅行で楽しんで来ることができました。来年も行きたいですね♪

社会見学旅行日帰り★リジョイス



9月26日、リジョイスとみおか社会見学旅行（日帰りコース）で、信州フルーツラインのぶどう狩りに行って来ました。白根山も登りましたが、とても寒かったです。バスの中ではカラオケやゲーム等もあり楽しんで行ってきました。



## 平成24年度社会福祉法人友愛会事業報告及び財務報告

### ●事業報告

平成23年4月15日より、国立のぞみの園の定員25名の3棟を借用して避難生活し、事業運営を行っている。（3月末日現在 利用者68名）  
また、国立のぞみの園の建物を借用して就労継続支援事業B型、生活介護事業を行い、共同生活援助・共同生活介護事業についても一部再開している。

- 5月 ・法人監事監査 ・第1回評議員会 ・第1回理事会
- 7月 ・法人役員及び評議員研修会（福島市、仙台市） ・法人役員及び評議員全員協議会
- 8月 ・第2回評議員会 ・第2回理事会
- 10月 ・友愛会保護者懇談会（国立のぞみの園文化センター）
- 12月 ・第3回評議員会 ・第3回理事会
- 3月 ・苦情解決第三者委員会 ・第4回評議員会 ・第4回理事会



### ●財務報告

#### 【貸借対照表】

平成25年3月31日現在 （単位：円）

資産の部			
	合 計	一般会計	就労支援会計
流動資産	169,056,575	130,018,398	39,038,177
固定資産	663,573,132	577,272,849	86,300,283
資産の部合計	832,629,707	707,291,247	125,338,460
負債の部			
	合 計	一般会計	就労支援会計
流動負債	9,893,673	7,336,023	2,557,650
固定負債	23,339,711	17,051,946	6,287,765
負債の部合計	33,233,384	24,387,969	8,845,415
純資産の部			
	合 計	一般会計	就労支援会計
基本金	118,438,527	118,438,527	0
国庫補助金等特別積立金	149,102,777	147,239,859	1,862,918
その他の積立金	323,634,033	273,484,033	50,150,000
次期繰越活動収支差額	208,220,986	143,740,859	64,480,127
純資産の部合計	799,396,323	682,903,278	116,493,045
負債及び純資産の部合計	832,629,707	707,291,247	125,338,460

#### 【事業活動収支計算書】

（自）平成24年4月1日 （至）平成25年3月31日現在 （単位：円）

勘定科目	合 計	一般会計	就労支援会計
就労支援事業収入計(1)	2,010,308	0	2,010,308
就労支援事業支出計(2)	1,584,805	0	1,584,805
就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	425,503	0	425,503
福祉事業活動収入計(4)	378,503,076	320,812,899	57,690,177
福祉事業活動支出計(5)	303,821,805	234,667,108	69,154,697
福祉事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	74,681,271	86,145,791	-11,464,520
事業活動外収入計(7)	56,073,600	38,056,403	18,017,197
事業活動外支出計(8)	56,000,000	49,000,000	7,000,000
事業活動外資金収支差額(9)=(7)-(8)	73,600	-10,943,597	11,017,197
経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	75,180,374	75,202,194	-21,820
特別収入計(11)	5,000,000	5,000,000	0
特別支出計(12)	6,238,957	5,369,987	868,970
特別収支差額(13)=(11)-(12)	-1,238,957	-369,987	-868,970
当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	73,941,417	74,832,207	-890,790
前期繰越活動収支差額(15)	210,279,569	144,908,652	65,370,917
当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	284,220,986	219,740,859	64,480,127
その他の積立金取崩額(17)	0	0	0
その他の積立金積立額(18)	76,000,000	76,000,000	0
次期繰越活動収支差額(19)=(16)+(17)-(18)	208,220,986	143,740,859	64,480,127

#### 【資金収支計算書】

（自）平成24年4月1日 （至）平成25年3月31日現在 （単位：円）

勘定科目	合 計	一般会計	就労支援会計
就労支援事業収入計(1)	2,010,308	0	2,010,308
就労支援事業支出計(2)	1,797,322	0	1,797,322
就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	212,986	0	212,986
福祉事業活動収入計(4)	426,791,921	351,988,995	74,802,926
福祉事業活動支出計(5)	336,553,442	266,160,286	70,393,156
福祉活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	90,238,479	85,828,709	4,409,770
施設整備等収入計(7)	5,000,000	5,000,000	0
施設整備等支出計(8)	11,850,480	11,630,480	220,000
施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)	-6,850,480	-6,630,480	-220,000
財務収入計(10)	416,692	416,692	0
財務支出計(11)	78,134,204	77,631,948	502,256
財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)	-77,717,512	-77,215,256	-502,256
当期資金収支差額合計(13)=(3)+(6)+(9)+(12)	5,883,473	1,982,973	3,900,500
前期末支払資金残高(14)	153,066,912	120,699,402	32,367,510
当期末支払資金残高(15)=(13)+(14)	158,950,385	122,682,375	36,268,010

### 皆様の温かい「寄附・」協力 ありがとうございます

(平成25年5月～平成25年10月分 順不同)

- ・独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園様
- ・(株)アド・リブ様
- ・日産労連NPOセンター様
- ・前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター様
- ・JR東日本旅客鉄道労働組合 高崎地方本部
- ・絆の会様
- ・清涼園保護者会様
- ・高崎アコordeイオンサークル様
- ・ロゴス腹話術研究会様
- ・(有)微笑庵様
- ・寺島啓二様
- ・山本佐紀子様
- ・秋元英俊様
- ・比佐幸子様
- ・高田紀子・好子様
- ・佐藤美也子様
- ・大山浩子様
- ・菊池定様
- ・山口ミツノ様
- ・鈴木裕子様
- ・酒井ゆき様
- ・小林マサエ様
- ・吉田真由美様
- ・池田博明様
- ・松本房夫様
- ・高橋たけ子様
- ・鈴木尚紀様



ロゴス腹話術研究会の皆様による慰問。実際に人形にも触れさせて頂きました。



音楽療法ボランティアの鈴木さんと酒井さんには定期的に光洋愛成園を訪問して頂いています。



### 人形劇鑑賞



この人形劇は、園の子どもたちと先生たちによって行われ、観客の心を魅了する素晴らしい作品です。

6月21日、国立のぞみの園文化センターにて「日産労連NPOセンター『ゆうらいふ21』2013チャリティー「きやらばん」公演が行われました。人形劇「象つかいソムポット」を友愛会と国立のぞみの園の利用者さんと一緒に鑑賞しました。鑑賞するだけでなく劇に参加する場面もあり、大きな像の

### 寺島啓二様訪問演奏会



この演奏会は、寺島啓二様のご指導のもと、園の子どもたちと先生たちによって行われ、観客の心を魅了する素晴らしい作品です。

5月25日、風車プラザースのお一人である寺島啓二様の訪問演奏会が開催されました。寺島さんは宮城県等被災地に赴き演奏活動をされており、レパートリーは1000曲にも及ぶとのこと、当日は利用者さん

### 資格取得 おめでとうございます



岩間英行さん(右)と担当の佐藤生活支援員



この度、ワークセンターさくらの岩間英行さんが介護職員初任者研修の試験に合格しました。避難生活により目標を見失った時期もありましたが、自分の意志で資格取得を決意し、高崎市内の専門学校に通い、スクーリングで介護技術を学んだり、日々の自主勉強で知識をつけました。休日には光洋愛成園でボランティア活動も行っています。岩間さんの並々ならぬ努力には頭が下がります。次のステップへ向けて更なる飛躍を遂げてくれることを期待したいと思います。

### 表彰おめでとうございます

日本知的障害者福祉協会の平成25年度知的障害者福祉事業功労者表彰を受賞した職員は次のとおりです。

#### 光洋愛成園

柚原広之(課長兼サービス管理責任者)

青木葉子(主任生活支援員)

#### ワークセンターさくら

新妻哲二(施設長)

秋元俊成(主任兼サービス管理責任者)

叶 幸男(主任生活支援員)

小松晴義(主任職業指導員)

#### サポートセンターゆうあい

作田律子(主任生活支援員)

### 恒例行事

広野町に施設建設用地が見つかり、先ずは一步前進。しかし、同時に多くの不安もあります。放射能は大丈夫か、新しい生活環境に馴染めるか、職員補充はうまく行くのか、病院は、職員が住まいる・・挙げればきりがありません。帰還して事業再開というより、新たな友愛会を創造する気分。それでもやはり大きな前進です。

※掲載した写真については、ご本人からの承諾を得ております。